



# はこべら

学校教育目標：豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自ら学ぶ子どもの育成  
響かせよう 響き合おう ～今に響け 未来に響け～

時津町立時津東小学校 学校だより 第 1 号

令和5年4月25日 文責：校長 村井 宏之

## 響かせよう 響き合おう



令和五年度が始まりました。学級数は特別支援学級が一年級増え、二十四学級となりましたが、児童数は新入生百三名を迎え、五百三十六名でのスタートです。

始業式では、今年度も「響かせよう響き合おう」を合言葉に、みんなの声が響き合う学校にしようという話をしました。

東小の「あいさつ」はこの一年で確実に良くなりました。しかし、もっともっと良くなると信じます。一人一人の「あいさつ」をレベルアップして、東小の「あいさつ」を本物にしたいと思っています。

また、今年度は「あいさつ・返事」だけでなく、「自分の考えや気持ちをしっかりと伝えるようになってほしい。」ということを伝えました。授業中は、教師の声ではなく、子どもたちの声が響く教室にしたいと考えています。また、発表が上手になるためには、みんながしっかりと、先生の話や友達の話を聞けるようになることが大切であることを伝えました。人の話を聞くということは、相手への思いやりであり、人の頑張りや思いに伝えることが心を響かせ合うことにつながると考えます。

この話を受け、最後に各学年の子供たちに新年度頑張りたいことをインタビューしたのですが、たくさんの手が挙がりました。私の願いは、叶うと確信しました。

### 新入生百三名が入学しました

四月十日(月)に、かわいい百三名の新入生が入学してきました。大きなランドセルを背負い、お家の人に手を引かれ登校してきました。

入学式では、緊張の中にもしっかりと話を聞く一年生の姿がありました。今年度は、在校生を代表して六年生がギャラリイからではありましたが、参加することができました。六年生の「校歌」の声が体育館中に響き、一年生を力強く迎えることができました。

入学してまだ、三週間ですが、学校の生活にも慣れ、頑張っています。一週目は新しい環境に不安を感じ、悲しそうな表情を浮かべる子もいましたが、お友達もできて、落ち着いてきています。二十日には六年生のパートナーとの出会いを果たし、昼休みだけでなく、休み時間にも遊んでいる姿を見かけます。この一週間で、一段と笑顔が増えたような気がします。



### 「いってらっしゃい、気を付けてね」

子どもたちを「いってらっしゃい。気を付けてね。」の言葉で送り出してあげてください。言葉にはパワーがあると信じます。お家の方の愛情ある言葉が子どもたちの元気の素になり、子どもたちの安全を守ってくれるように思います。玄関で、笑顔で送り出してあげてください。

また、家を出る時刻を年度の始まりである今、再度確認ください。昨年度に比べ、始業時刻に遅れる子は減ってはいませんが、まだ間に合わない子どもたちもいます。校舎の開錠は七時三十分なので、早すぎても安全が守れません。七時三十分から五十分の間に学校に到着できるように、もう一度、出発時刻を調整してください。

### マスクの着用について

先日、文書でお知らせしたように、児童及び教職員については、学校教育活動に当たって、マスクの着用を求めないことを基本とします。しかし、マスクを着けている子どもたちが多いようです。マスクがとれるまで、まだまだ時間がかかりそうです。子どもたちの気持ちを大切にしながら、慌てず、ゆっくりと見守っていきましょう。

家庭の状況や天候に応じて、ご家庭でマスクの着用についてお子様にお伝えください。

# 令和5年度 学校経営方針

## 学校教育目標

豊かな心を持ち、心身ともにたくましく、自ら学ぶ子どもの育成

合言葉 「響かせよう 響き合おう 今に響け 未来に響け」

### 【目指す児童像】

#### ○思いやりのある子

- 多様な他者と豊かに関わっている
- 気持ちのよいあいさつができる
- ルールやマナーが守れる
- 自己肯定感が高い

#### ○自ら学ぶ子

- 自ら進んで学習している
- 学び方を身に付けている
- 自分の考えや気持ちを自分の言葉で伝えている
- 解決まで粘り強く取り組んでいる

#### ○元気でたくましい子

- 自分の可能性を信じ、夢や目標に向かって努力している
- 心と体の健康を考え、進んで鍛えている
- 望ましい生活習慣、運動習慣、食習慣を身に付けている

### 【目指す学校像】

- 子どもにとって「今日が楽しい、明日が待たれる学校」
- 地域や保護者にとって「安心して子どもを預けられ、誇りに思うことができる学校」
- 教職員にとって「互いが協力し合い、やりがいのある学校」

### 【目指す教職員像】

- どの子どもも愛し、どの子どもも伸ばす教職員
- 同僚とともに研鑽に励む、活力に満ちた教職員
- 子ども・保護者・地域から信頼される教職員

子どもの具体的な姿として「声が出る」姿を求めます。  
「声」にこだわった指導をします。  
家庭と地域と共に、「声が響き、心が響き合う」学校をつくります。



声を響かせ 心を響かせ合う

○あいさつ、返事    ○歌（校歌）    ○発表、話し合い、反応    ○ありがとう